

授業科目	臨床栄養学特論 Clinical Nutrition			担当教員	※南 久則		
展開方法	講義	単位数	2単位	開講年次・時期	1・2年／集中	必修・選択	選択
授業のねらい							
健康に影響を及ぼす要因は多種多様であるが、食生活と栄養は健康を左右する重要な一因子である。本講義では、健康・栄養・環境の相互関係と疾病と栄養に関する研究成果を基にして、栄養・食事療法の科学的根拠を理解し実践できる能力を修得することである。							
	学生の授業における到達目標			評価手段・方法		評価比率	
関心・意欲・態度	疾病と栄養に興味を持ち、疾患と栄養に関する話題に参加できる。			受講生に対する質問		20%	
思考・判断	栄養・食事療法の科学的根拠を説明できる。			受講者の発表		30%	
技能・表現	栄養・食事療法の具体的な技術を実践し説明できる。			受講者の発表		30%	
知識・理解	疾患と栄養を科学的に説明できる。			受講者の発表に対する質問		20%	
出席						受験要件	
合計						100%	
評価基準および評価手段・方法の補足説明							
討論や課題への取り組み、理解度、まとめ方、プレゼンテーション内容等を総合的に評価する。							
授業の概要							
<p>以下の各テーマについて各自資料を収集し、疾病に関連した栄養管理の方法を発表する。資料検索の方法、発表の方法は授業で指示する。パワーポイントを用い、基本的事項（疾病の成り立ち、基本的検査法、治療法）を解りやすく説明し、栄養管理に関する情報提供を行う。また最近のトピックスがあればそれも発表する。発表内容について討論を行う。</p> <p>テーマ 1) 糖尿病、2) 循環器疾患、3) 腎疾患、4) 消化器疾患、5) サルコペニア、6) 免疫と栄養など。</p> <p>受講者数によって担当するテーマを決定する。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：特に指定しないが、各自で必要と思われるものを選定して使用すること。</p> <p>参考書：適宜、指示する。</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>自己本位にならず、わかりやすく適切に説明できることが大切です。「正確に理解し、わかりやすく」を心がけてください。</p> <p>臨床栄養学を修得するには、これまでの学部で履修したすべての教科目の内容が十分な理解が必要であるので、各自、しっかりと復習をして、本講義に臨んでください。</p>							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	臨床栄養学概説	講義の進め方に関するオリエンテーション	各自で選定した教科書で特論のテーマ内容を確認
2	糖尿病	基本的事項あるいはトピックスの説明	糖尿病の基本的知識に付いて理解する。
3	糖尿病	栄養管理に関する情報提供	糖尿病の栄養管理に付いて理解する
4	循環器疾患	基本的事項あるいはトピックスの説明	循環器疾患の基本的知識に付いて理解する。
5	循環器疾患	栄養管理に関する情報提供	循環器疾患の栄養管理に付いて理解する
6	腎疾患	基本的事項あるいはトピックスの説明	腎疾患の基本的知識に付いて理解する。
7	腎疾患	栄養管理に関する情報提供	腎疾患の栄養管理に付いて理解する
8	まとめ1	総合討論	討論の内容のまとめ
9	消化器疾患	基本的事項あるいはトピックスの説明	消化器疾患の基本的知識に付いて理解する。
10	消化器疾患	栄養管理に関する情報提供	消化器疾患の栄養管理に付いて理解する
11	サルコペニア	基本的事項あるいはトピックスの説明	サルコペニア基本的知識に付いて理解する。
12	サルコペニア	栄養管理に関する情報提供	栄養管理に付いて理解する
13	免疫と栄養	基本的事項あるいはトピックスの説明	サルコペニア基本的知識に付いて理解する。
14	免疫と栄養	栄養管理に関する情報提供	栄養管理に付いて理解する
15	まとめ2	総合討論	総合討議の内容を確認し、まとめをする